

2027(令和9)年度

総 合 型 選 抜 学 生 募 集 要 項



北方キャンパス



ひびきのキャンパス



公立大学法人
北九州市立大学

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

目 次

A 試 験 概 要

1 実施日程・募集人員	1
2 出願資格・基礎学力テスト等	2
3 合否判定基準	4

B 出 願

1 出願方法	4
2 出願期間等	5
3 出願書類	6
4 出願上の注意	7
5 受験票について	7
6 出願状況ホームページ掲載について	7
7 受験及び修学上の配慮について	7
8 個別の入学資格審査について	7
9 国際環境工学部 生命工学科の課題解決型記述問題（事前課題）について	7
10 日本国外から出願する場合等について	7

C 試 験

1 受験上の注意	8
2 試験会場	9

D 試 験 後

1 合格発表	9
2 入学手続	9
3 入学前教育	10
4 入学金等納入金一覧	10
5 年間授業料	11

E 入試における感染防止対策について

..... 11

F そ の 他

1 教育目的	12
2 アドミッション・ポリシー	12
3 ディプロマ・ポリシー	15
4 入試情報の成績開示について	16
5 個人情報の取扱いについて	17
6 個人用ノートパソコンの必携について	17

【各種様式】

- ・北九州市立大学総合型選抜 自己推薦書（外国語学部・地域創生学群用）**様式 1**
- ・入学希望理由書（国際環境工学部用）**様式 2**
- ・活動・資格等の実績報告書（国際環境工学部機械システム工学科用）**様式 3**
- ・活動・資格等の実績に関する資料 作成要領（国際環境工学部建築デザイン学科/生命工学科用）

A 試験概要

1 実施日程・募集人員

出願期間		2026年9月1日（火）～9月7日（月）必着					
受験票印刷可能期間		2026年9月15日(火)～2027年1月22日(金)					
1次選考	試験日	2026年9月27日(日)					
	学部等	学 科 等	募集 人員	集 合	試験科目	試験時間	
	外国語学部	英 米 学 科	20	北 方 キャンパス 本 館 9：00 集 合	英語による模擬授業 筆記試験	9：30～10：15 10：45～12：15	
		国 際 関 係 学 科	10		小論文	9：30～10：30	
	地域創生学群	地 域 創 生 学 類	60	北 方 キャンパス 本 館 ※	集団討論※	※	
	国際環境工学部	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	若干名	—	調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績	—	
		建 築 デ ザ イ ン 学 科	5		調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績	—	
		生 命 工 学 科	8		ひびきの キャンパス 9：30 集 合	調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 数学	— 10：00～11：00
	合格発表	2026年10月2日(金)					
	2次選考	試験日	2026年10月18日(日)				
学部等		学 科 等	募集 人員	集 合	試験科目	試験時間	
外国語学部		英 米 学 科	20	北 方 キャンパス 本 館	面接	集合時間等詳細は 1次選考合格者に 通知します。	
		国 際 関 係 学 科	10		集団討論 面接		
地域創生学群		地 域 創 生 学 類	60		小論文 個別面接		
国際環境工学部		機 械 シ ス テ ム 工 学 科	若干名	ひびきの キャンパス	課題探究試験・面接		
		建 築 デ ザ イ ン 学 科	5		課題探究試験・面接		
		生 命 工 学 科	8		課題解決型記述問題に 関する口頭試問及び 個別面接		
合格発表		2026年11月2日(月)					
入学手続期間		2027年1月19日(火)～1月22日(金)					

※1次選考における地域創生学群の集合時間と集団討論及び試験時間については、受験票に記載のホームページアドレスから事前にご確認ください。

2 出願資格・基礎学力テスト等

- (1) 表中の高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部を含みます。
- (2) 大学入学共通テストは課しません。

外国語学部

学 科	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
					時間	配点
英 米 学 科	20	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ①高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ③外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ⑤専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2027年3月に修了見込みの者	〈1次選考〉 英語による模擬授業の受講後、筆記試験を課す。筆記試験は、模擬授業の内容の理解度及びそれに基づく思考力・表現力を見る試験(英文和訳及び英作文を含む。)とし、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	英語による模擬授業 筆記試験	45分 90分	150
			〈2次選考〉 1次選考の結果、面接及び自己推薦書(1200字)を総合的に評価して合格者を決定する。	面接(注1) (英語による模擬授業に関するディスカッション、自己推薦書を含む。)	—	
国際関係学科	10	⑥文部科学大臣の指定した者 ⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。)又は2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 小論文の成績に基づき、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	小論文	60分	150
			〈2次選考〉 集団討論、面接及び自己推薦書(1200字)を総合的に評価して合格者を決定する。	集団討論 面接 (自己推薦書)	—	150

(注1) 2次選考の面接は、英語及び日本語で行います。また、1次選考の英語による模擬授業の理解度などを見るために、ディスカッションも課します。

地域創生学群

学 類	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
				時間	配点	
地域創生学類	60	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ①高等学校を2026年4月から2027年3月に卒業した者又は卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2026年4月から2027年3月に修了した者又は修了見込みの者 ③外国において学校教育における12年の課程を2026年4月から2027年3月に修了した者又は修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2026年4月から2027年3月に修了した者又は修了見込みの者 ⑤専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は修了見込みの者(2026年4月から2027年3月までにこれに該当する者又は該当する見込みの者に限る。) ⑥文部科学大臣の指定した者(2026年4月から2027年3月までにこれに該当する者又は該当する見込みの者に限る。) ⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に2026年4月から2027年3月までに合格した者又は合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 集団討論、自己推薦書(1200字)、調査書を総合的に評価して、2次選考対象者(100名程度)を決定する。	集団討論(注1) (自己推薦書 調査書)	—	200
			〈2次選考〉 1次選考の結果、小論文及び個別面接の結果を総合的に評価して合格者を決定する。	小論文 個別面接	60分 —	

(注1) 集団討論は、グループワークを行うこともあります。集団討論については、受験票に記載のホームページアドレスから事前にご確認ください。

国際環境工学部

学 科	募集 人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
					時間	配点
機械システム 工学科	若干名	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ①高等学校を卒業した者又は2027年3月に卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ③外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は2027年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ⑤専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2027年3月に修了見込みの者 ⑥文部科学大臣の指定した者	〈1次選考〉 調査書、入学希望理由書、これまでの活動実績を総合的に評価して、2次選考対象者を決定する。	調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績 (注1)	—	100
			〈2次選考〉 課題探究試験と面接の結果を総合的に評価して合格者を決定する。	課題探究試験・面接 (注2)	—	200
建築デザイン 学科	5	⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は2027年3月31日までに合格見込みの者で、2027年3月31日までに18歳に達するもの ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で2027年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 調査書、入学希望理由書、これまでの活動実績を総合的に評価して、2次選考対象者を決定する。	調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績 (注1)	—	100
			〈2次選考〉 課題探究試験と面接の結果を総合的に評価して合格者を決定する。	課題探究試験・面接 (注3)	—	200
生命工学科	8		〈1次選考〉 調査書、入学希望理由書、これまでの活動実績、数学を総合的に評価して、2次選考対象者を決定する。	調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績 (注1)	—	100
			〈2次選考〉 課題解決型記述問題（事前課題）、面接および1次選考結果の合計点から合格者を決定する。	数学（注4） 課題解決型記述問題（注5）に関する口頭試問及び個別面接（注6）		200
					60	250

（注1）日本の高校を卒業していない外国籍の志願者については、日本留学試験の成績を利用できます。利用する場合は、「2025年度日本留学試験」の第2回又は「2026年度日本留学試験」の第1回で、「日本語」「理科（物理・化学）」「数学（コース2）」を全て受験してください。（出題言語：日本語）

※生命工学科の理科については、物理、化学、生物から2科目選択してください。

（注2）面接では、課題探究試験（課題は当日に提示）に基づくプレゼンテーションを実施してもらい、口頭試問を実施します。

（注3）面接では、課題探究試験（7月下旬頃、ホームページで課題のテーマを提示予定）に基づくプレゼンテーションを実施してもらい、口頭試問を実施します。

（注4）数学の基礎的な知識、理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。

（注5）課題解決型記述問題は、1次選考合格者にレポートとして事前に提出してもらいます。（7月下旬頃、ホームページで課題を提示予定）

（注6）個別面接では、課題解決型記述問題（事前課題）に基づくプレゼンテーションを実施してもらい、口頭試問を実施します。

【国際環境工学部の入試過去問題活用宣言への参加について】

2010年度に実施の一般選抜試験から、国際環境工学部は「入試過去問題活用宣言」に参加し、アドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

対象となるのは、国際環境工学部の次の選抜区分、試験科目です。

■選抜区分：一般選抜 前期日程・後期日程、学校推薦型選抜、総合型選抜

■試験科目：「数学」、「理科」（物理・化学・生物）、「総合問題」

※他の学部・学群は、「入試過去問題活用宣言」に参加しておりません。

「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。

<https://www.nyushikakomon.jp>

3 合否判定基準

◇外国語学部 英米学科

- (1) 1次選考 英語による模擬授業に関する筆記試験150点です。
- (2) 2次選考 2次選考対象者に対し、1次選考の結果、面接及び自己推薦書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断し、合否を判定します。配点は、筆記試験150点、面接(英語による模擬授業に関するディスカッション、自己推薦書を含む) 150点です。

◇外国語学部 国際関係学科

- (1) 1次選考 小論文150点です。
- (2) 2次選考 2次選考対象者に対し、集団討論、面接及び自己推薦書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断し、合否を判定します。配点は、集団討論・面接(自己推薦書を含む) 150点です。

◇地域創生学群 地域創生学類

- (1) 1次選考 集団討論(自己推薦書及び調査書を含む) 200点です。
- (2) 2次選考 2次選考対象者に対し、1次選考の結果、小論文及び個別面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断し、合否を判定します。配点は、集団討論(自己推薦書及び調査書を含む) 200点、小論文100点、個別面接200点です。

◇国際環境工学部 機械システム工学科

- (1) 1次選考 調査書、入学希望理由書、活動・資格等の実績を総合的に評価して、2次選考対象者を決定します。配点は100点です。なお、日本留学試験の成績を利用する場合は、その成績も評価に含めます。
- (2) 2次選考 課題探究試験と面接の結果を総合的に判断し、合否を判定します。配点は200点です。

◇国際環境工学部 建築デザイン学科

- (1) 1次選考 調査書、入学希望理由書、活動・資格等の実績を総合的に評価して、2次選考対象者を決定します。配点は100点です。なお、日本留学試験の成績を利用する場合は、その成績も評価に含めます。
- (2) 2次選考 課題探究試験と面接の結果を総合的に判断し、合否を判定します。配点は200点です。

◇国際環境工学部 生命工学科

- (1) 1次選考 調査書、入学希望理由書、活動・資格等の実績及び数学の点数を総合的に評価して、2次選考対象者を決定します。配点は調査書等が100点、数学が200点です。なお、日本留学試験の成績を利用する場合は、その成績も評価に含めます。
- (2) 2次選考 1次選考結果、課題解決型記述問題に関する口頭試問及び個別面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断し、合否を判定します。配点は調査書等が100点、数学が200点、課題解決型記述問題に関する口頭試問及び個別面接が250点です。

B 出 願

1 出願方法

(1) 事前準備

- ① インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等の準備
学校や予備校など自宅外のパソコンからも出願できます。インターネット出願ができる環境が整っていない場合は、事前に北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係(093-964-4022)までご相談ください。
- ② プリンターの準備
A4サイズの用紙が印刷できるプリンター(モノクロ、カラーは問いません)が必要です。
出願確認票や宛名ラベル、受験票等を印刷する際に必要になります。
- ③ 利用可能なメールアドレスの準備
電子メールアドレスが必要になります。スマートフォン・携帯電話のメールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。
本学から、入学試験に関する重要なお知らせ(出願登録確認・入学検定料支払い確認等)を配信します。
- ④ 入学検定料支払い方法の確認
コンビニエンスストア、クレジットカード、銀行ATM、ネットバンキングでの支払い方法があります。
支払い方法は「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。
- ⑤ 必要書類の準備
調査書、顔写真等の出願に必要な書類等は、発行や作成に時間がかかる場合がありますので、早めに準備をしてください。

⑥ 角形 2 号(角 2)封筒の準備

出願書類を提出するため、市販の角形 2 号(角 2) (240mm×332mm)封筒を事前に準備してください。

(2) 出願登録

インターネットによる「出願登録」を行います。

出願登録等の手順は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

(3) 入学検定料の支払い

入学検定料17,000円（別途、サービス利用料900円）をお支払いください。

入学検定料の支払い手順は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

(4) 出願書類の提出

出願登録、入学検定料支払い後、出願書類の提出をしてください。

出願書類の提出方法は、「**2 出願期間等**」、「**3 出願書類**」を確認してください。

■インターネットを利用した出願の流れ



※出願の流れは、各選抜共通の流れです。「⑥出願書類の提出（郵送）」は、提出方法・提出書類の種類が各選抜で異なりますので、それぞれの学生募集要項を必ず確認してください。

2 出願期間等

(1) 出願期間等

出願期間 (出願書類の提出)	2026年 9 月 1 日（火）から 2026年 9 月 7 日（月）まで（ <u>必着</u> ）
出願登録・入学検定料支払期間 (インターネット入力等)	2026年 8 月 25 日（火）から 2026年 9 月 7 日（月）16：00まで

(2) 出願書類の提出方法

出願書類は次の方法で提出してください。なお、提出は、必ず「出願期間」内としてください。出願期間外（出願登録・入学検定料支払期間内の8/25～8/31も含む）は受理できませんのでご注意ください。

必ず「速達・簡易書留」で出願期間内に到着するように郵送してください（9月7日（月）必着）。ただし、9月6日（日）以前の発信局（日本国内）消印のある「速達・簡易書留」で郵送されたものに限り、9月8日（火）以降に到着した場合でも受理します。

※出願期間最終日の9月7日（月）のみ、9：00～17：00に下記送付先への持参が可能です。

[送付先]

【外国語学部、地域創生学群】

〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目 2 番 1 号 北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係

【国際環境工学部】

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの 1 番 1 号 北九州市立大学 学務課入学試験係

3 出願書類

出願登録、入学検定料支払い後、次の書類等を一括して提出してください。出願書類は、必ず下記③宛名ラベルを貼付した角形2号(角2)(240mm×332mm)封筒に封入してください。

インターネット出願 内容の印刷 類	①出願確認票	インターネット出願登録後、印刷したもの。
	②写真票	インターネット出願登録後、印刷したものに、上半身・脱帽・無背景・正面向きで出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm×横3cmサイズの写真の裏面に氏名を記入の上、所定欄に貼付してください。アプリ等で加工・修正するなど、本人確認に適さない写真は使用しないでください。
	③宛名ラベル	インターネット出願登録後、印刷したものを角形2号（角2）封筒に貼付してください。
	④調査書等	ア 高等学校を卒業した者又は2027年3月卒業見込みの者 ○出身高等学校長において作成厳封した調査書 イ 高等専門学校第3学年修了者又は2027年3月修了見込みの者 専修学校高等課程修了者又は2027年3月修了見込みの者 ○出身学校において、文部科学省の定める調査書に準じて作成厳封したもの ウ 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定に合格した者を含む） ○合格成績証明書（合格証明書では受理できません。） ○試験免除科目がある場合は、免除要件に係る証明書類（高等学校の調査書又は成績証明書） エ 文部科学大臣が定める、外国の大学入学資格試験（国際バカロレア、バカロレア〔フランス共和国〕、アビトゥア、GCE-A レベル、国際Aレベル、欧州バカロレア）合格者 ○成績証明書（事前に提出書類をお問い合わせください。） オ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者(注)又は2027年3月までに修了見込みの者 ○出身高等学校の卒業（修了）証明書〔原本〕又は卒業（修了）見込証明書〔原本〕 ○成績証明書〔原本〕 ○12年の課程を修了した教育施設が、文部科学大臣が定める団体の認定を受けていることを当該学校長が証明した書類 （注）外国人学校で文部科学大臣が定めたもの又は文部科学大臣が指定した評価団体が認定した教育施設で12年の課程を修了（又は修了見込み）の者を含む。 ※卒業証書（Diploma）の写し（コピー）を提出する場合は、原本から正しく複写されたものであることが、出身学校等によって証明されているものに限りです。 （例）中国における公証処発行の公証書 ※飛級がある場合は、それを証明する学校長発行の書類を添付してください。 ※調査書について、本人に帰責されない身体・健康上の理由による欠席がある場合は、備考欄にその旨を記載してください。 ※上記証明書等が、日本語以外で記載されている場合は、日本語で翻訳したものを添付してください。 ※高等学校における指導要録の保存期間経過及び廃校・被災等の事情により調査書が提出できない場合は、卒業証明書及び成績証明書を提出してください。なお、成績証明書も提出できない場合は、「調査書及び成績証明書が発行できない旨の証明書」を卒業証明書とあわせて提出してください。 ※上記証明書等の氏名が出願書類と異なっている場合は、戸籍抄（謄）本を提出してください。
	⑤自己推薦書 様式 1	【外国語学部・地域創生学群のみ】 所定の様式に志願者本人が自筆で記入してください。 ※必ずA4両面印刷をしてください。 ※記入には、黒のボールペンを使用してください。鉛筆で記入した書類は、受理せず返却する場合があります。
	⑥入学希望理由書 様式 2	【国際環境工学部のみ】 所定の様式に志願者本人が入学希望理由等を自筆で記入してください。
	⑦活動・資格等の実績報告書 様式 3	【国際環境工学部 機械システム工学科のみ】 所定の様式に志願者本人が自筆で記入してください。
	⑧活動・資格等の実績に関する資料	【国際環境工学部 建築デザイン学科・生命工学科のみ】 作成要領を参考に「活動・資格等実績一覧表（様式自由）」及び「活動・資格等の実績を証明する資料」を提出してください。
	⑨日本留学試験の受験票の写し（コピー）	【国際環境工学部志願者で、日本留学試験の成績を利用する場合のみ】 受験番号、氏名、受験科目（言語）等がはっきりとわかるようにコピーしてください。志望する学科が指定する日本留学試験の試験科目等については、3ページの「出願資格・基礎学力テスト等」を必ずご確認ください。 ※日本留学試験を複数回受験した者は、志望する学科が指定する教科の合格点が、最も高い試験の受験票の写し（コピー）を提出してください。 （試験当日は、日本留学試験の受験票〔原本〕を必ず持参してください。）

※ 出願書類の作成において、ChatGPT などの生成 AI を使用しないでください。

4 出願上の注意

- (1) インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願受付完了にはなりません。出願書類を出願期間内に提出（郵送）後、出願受付完了になります。
- (2) 出願受付完了後は、いかなる理由があっても出願書類の変更は認められません。
- (3) 出願書類に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても合格を取り消します。
- (4) 出願書類等に不備がある場合には、受理しません。
- (5) 出願書類は、下記(6)アを除き返却できません。
- (6) 一旦納入した入学検定料は、次のいずれかに該当する場合を除き返還はできません。（1次選考不合格者についても、返還はできません。）入学検定料の返還を希望する場合は、2026年11月27日（金）までにお問合せください。なお、日本国外からの入金の場合、返還はできませんのでご注意ください。
 - ア 提出書類の不備等により出願が受理されなかった場合
 - イ 提出書類を郵送しなかった場合
 - ウ 誤って二重に入金した場合
- (7) 出願後に住所変更を行った場合は、必ず入学試験係へ連絡してください。

5 受験票について

- (1) 受験票印刷可能期間 2026年9月15日（火）～2027年1月22日（金）
- (2) 受験票は、印刷可能期間中インターネット出願サイトの「申込確認」画面から印刷可能です。A4サイズの用紙に印刷し、二つ折りにしてください。
- (3) 試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。
- (4) 受験票には、メモなどを記入しないでください。記入していることを発見した場合は、不正行為とみなす場合があります。
- (5) 受験票は、入学手続及び入試情報の成績開示等に必要ですので、大切に保管しておいてください。
- (6) 1次選考における地域創生学群の集合時間と集団討論及び試験時間については、受験票に記載のホームページアドレスから事前にご確認ください。

6 出願状況ホームページ掲載について

本学ホームページに、志願者数の最終発表を掲載します。

7 受験及び修学上の配慮について

障害や疾病などで、受験及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に下記連絡先へ相談の上、2026年8月14日（金）（必着）までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

8 個別の入学資格審査について

2ページ及び3ページの出願資格⑧により出願する者は、事前に入学資格審査を行いますので、下記連絡先へ相談の上、2026年7月31日（金）（必着）までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

9 国際環境工学部 生命工学科の課題解決型記述問題（事前課題）について

3ページに記載のとおり、生命工学科の2次選考では、課題解決型記述問題（事前課題）に関する口頭試問および個別面接を実施します。事前課題は、1次選考合格者にレポートとして事前に提出してもらいます。詳細（課題および提出方法等）については、7月下旬頃、ホームページに提示予定ですのでご確認ください。

10 日本国外から出願する場合等について

- (1) 日本国外から出願し、受験時のみ日本へ入国する場合、又は、出願・受験時には日本国内にいるが、受験終了後、帰国する場合は、出願する前に下記連絡先へご連絡ください。
- (2) 感染症等の影響で、外国人の日本国への入国が制限される可能性があります。出願する前に、日本国「外務省ホームページ（<https://www.mofa.go.jp/mofaj/>）」を必ずご確認ください。
入国できないこと等により受験できない場合でも、入学検定料の返還はできませんのでご注意ください。

連絡先

【外国語学部、地域創生学群】北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 TEL 093-964-4022
【国際環境工学部】北九州市立大学 学務課入学試験係 TEL 093-695-3340
(ホームページアドレス <https://www.kitakyu-u.ac.jp/>)

C 試験

1 受験上の注意

(1) 持参物について

- ・受験票を必ず持参してください。(受験票は9月15日(火)から印刷可能)
- ・筆記用具(鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。)を持参してください。
- ・身分証明書(生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等(氏名及び生年月日の記載があり、顔写真付きで、試験当日において有効なもの。))を必ず持参してください。必要に応じて提示を求めたり、本人確認のための質問を行ったりする等の対応をとることがあります。
- ・試験時間中は、スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末・タブレット端末等の通信機器を時計として使用することはできません。また、これらの通信機器は、必ず電源を切り、カバンにしまっておいてください。イヤホンを含め身に付けることはできません。そのほか、電卓・そろばん・電子辞書・定規及びこれに類するものの持ち込みも厳禁です。発見した場合は、不正行為となることがあります。

(2) 所持品の取扱いについて

①受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・黒鉛筆、鉛筆キャップ(和歌・格言等が印刷されているものは不可。)
- ・シャープペンシル、シャープペンシルの芯(ケースは不可。)
- ・プラスチック製の消しゴム
- ・手動式の鉛筆削り
- ・時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。)
- ・眼鏡、ハンカチ(英文字や地図等がプリントされているものは不可。)、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの。)

②試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ・定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、I Cレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

(3) 来場について

- ・公共交通機関をご利用ください。(自家用車の学内乗り入れは固くお断りします。)
- ・試験当日は、指定された集合時間までに試験室に集合してください。

※遅刻制限について

選考	学部等	学科等	遅刻制限
1次選考	外国語学部	英米学科	9:20まで
		国際関係学科	9:50まで
	地域創生学群	地域創生学類	集合時間以降の遅刻は認めない
		機械システム工学科	—
	国際環境工学部	建築デザイン学科	—
		生命工学科	10:20まで
2次選考	外国語学部	英米学科	集合時間以降の遅刻は認めない
		国際関係学科	
	地域創生学群	地域創生学類	
		機械システム工学科	
	国際環境工学部	建築デザイン学科	
		生命工学科	

※公共交通機関が遅延した場合

定期に運行している公共交通機関の大幅な遅れにより試験開始時刻に遅刻した場合には、所定の試験時間を確保して試験を行います。その際、当該公共交通機関を利用したことの証明のため、乗車時刻・到着時刻等をあらかじめ記録し申告してください。(自家用車の利用による遅延は、この対象となりません。)

(4) 集団討論及び面接試験の待ち時間について

受験者数によって面接試験の順番が来るまで時間を要する場合がありますので、読書や勉強などで時間を費やすことができるよう準備をお願いします。(ゲーム、スマートフォン、携帯電話及び電子辞書などの電子機器類の使用は禁止します。)

また、飲食は可能ですので、必要な方は各自でご準備ください。

(5) 不正行為について

カンニングなどの不正行為を行った場合には失格とします。また、試験中に試験監督者の指示に従わなかった場合は、その試験を0点とする場合があります。必要に応じて追加的な確認を行ったり、警察に被害届を提出したりする場合があります。

2 試験会場

学部等	試験会場 *	主要交通機関
外国語学部 地域創生学群	北九州市立大学 北方キャンパス本館 (北九州市小倉南区 北方四丁目2番1号)	北九州モノレール利用 JR 小倉駅(乗り換え)⇒モノレール「小倉」駅乗車⇒ (乗車時間約10分)⇒モノレール「競馬場前 (北九州市立大学前)」駅下車⇒(徒歩約3分)⇒ 北九州市立大学北方キャンパス
国際環境工学部	北九州市立大学 ひびきのキャンパス (北九州市若松区 ひびきの1番1号)	北九州市営バスまたは西鉄バス利用 JR 折尾駅バス停から乗車(約20分)⇒ 学研都市ひびきのバス停下車⇒(徒歩約2分)⇒ 北九州市立大学ひびきのキャンパス ※JR 折尾駅バス停…「学研都市」行き バスの乗り場・行先番号については、最新情報を 以下でご確認ください。 北九州市営バス …… 若松営業所 093-771-2765 向田営業所 093-691-0131 西鉄バス …… 西鉄お客さまセンター 050-3616-2150 / 0570-00-1010

* 裏表紙の案内図参照

D 試験後

1 合格発表

◇ 1次選考

(1) 合格発表日時 2026年10月2日(金)10時頃

(2) 合格発表方法

- ① ホームページ 合格発表日の10時頃、本学ホームページに合格者受験番号を掲載します。
ホームページアドレス <https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/>
- ② 合格通知 1次選考合格者に対して、「合格通知書」及び2次選考の詳細を簡易書留で発送します。未着の場合、郵便局の不在票を確認してください。

◇ 2次選考(最終)

(1) 合格発表日時 2026年11月2日(月)10時頃

(2) 合格発表方法

- ① ホームページ 合格発表日の10時頃、本学ホームページに合格者受験番号を掲載します。
ホームページアドレス <https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/>
- ② 合格通知 合格者には、発表日当日に「合格通知書」を簡易書留で発送します。未着の場合、郵便局の不在票を確認してください。

※合格に関することや、受験番号の問い合わせには一切応じません。

※学内掲示は行いません。

2 入学手続

- (1) 入学手続期間 2027年1月19日(火)～1月22日(金)17:00 必着
- (2) 入学手続に関する詳細については、「合格通知書」送付の際にお知らせします。主な必要書類は、住所カード、授業料口座振替依頼書、学生証用写真(縦4cm×横3cm、カラー、2枚)等です。
- (3) 入学手続には、本学の受験票が必要です。大切に保管しておいてください。
- (4) 合格者は本学の他の選抜試験及び他の国公立大学に出願しても、その合格者とはなりません。合格して入学手続をしなかった場合も同じです。((5)により本学が承認した場合を除く。)
- (5) 特別な事情により本学への入学を辞退する場合は、2027年1月22日(金)の入学手続期限までに「総合型選抜における入学辞退届」(様式は任意)を本学(入試・研究支援課入学試験係)へ提出し、本学の承認を受けてください。
- (6) 理由のいかんを問わず、入学手続期間の延長は行いません。
- (7) 期間内に、入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。
- (8) 一旦納入した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。なお、高等教育の修学支援新制度に係る入学金の取扱いについては、11ページを確認してください。

3 入学前教育

- ◇外国語学部 英米学科
総合型選抜合格者（入学予定者）には、スクーリングとレポートの提出を課します。
詳細については、合格通知書送付の際に通知します。
- ◇外国語学部 国際関係学科
総合型選抜合格者（入学予定者）には、原則として、本学（北方キャンパス）で行う入学前の教育プログラムへの参加を課します。
詳細については、合格通知書送付の際に通知します。
- ◇地域創生学群 地域創生学類
総合型選抜合格者（入学予定者）には、原則として、本学（北方キャンパス）等で行う入学前の教育プログラムへの参加を課します。
詳細については、合格通知書送付の際に通知します。
- ◇国際環境工学部
国際環境工学部の入学予定者には、大学での学習がスムーズに始められるよう「国語」「英語」「数学」「物理」「化学」「生物」について入学前教育を課します。（学科によって科目が異なります。）
なお、入学前教育の詳細については、合格発表後に通知します。

4 入学金等納入金一覧（現行の金額です。変更となる場合があります。）（単位：円）

(1) 入学金

学部等		外国語学部	地域創生学群	国際環境工学部
区分				
入学金	北九州市内居住者	282,000	282,000	282,000
	上記以外の者	423,000	423,000	423,000

(2) 保険料及び諸会費

(単位：円)

学部等			外国語学部	地域創生学群	国際環境工学部
区分					
保険料	学生教育研究災害傷害保険 (学研災)		3,300	3,300	3,300
	学研災付帯賠償責任保険 (学研賠)		1,360	1,360	1,360
諸会費	後援会費		50,000	50,000	50,000
	同窓会費	入会金	30,000	30,000	30,000
		会費	20,000	20,000	20,000
	学会費		10,000	10,000	—
	学友会費	入会金	1,000	1,000	1,000
		会費	25,600	25,600	25,600
合 計			141,260	141,260	131,260

- 備考 1 北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者若しくは2親等内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は市民税非課税者）であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいい、それを証明する書類（市民税納税証明書、納税義務者の住民票、入学者と納税義務者の続柄がわかる書類など）が必要となります。なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者（又は市民税非課税者）」であるためには、2026年1月1日現在北九州市に在住していることが必要です。
- 2 保険料及び諸会費の金額はいずれも一括納入額です。保険料、学友会費、学会費は4ヵ年分。後援会費は在籍期間中における会費、同窓会費は終身会費です。
諸会費については、入学の必須条件ではありません。
- 3 本学では、学生の教育研究活動中の事故によるケガ等に備えて、全学生に「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」に加入をしていただき、万が一の場合に、学生の負担軽減を図ることとしています。この保険は、教育実習やインターンシップに参加する際に、必要な保険となっています。
- ※【参考】学研災付帯賠償責任保険（学研賠）：正課（特に、実験・実習等）、学校行事、課外活動及びその往復中の賠償責任事故を対象。

5 年間授業料（現行の金額・納入方法です。入学時に変更となることがあります。）

学 部 等	年間授業料	納入回数		納 入 方 法
		(第1期)	(第2期)	
外国語学部	535,800円	267,900円	267,900円	口座振替による、年間2期の分割納入です。 入学手続き時に口座振替依頼書を提出していただきます。
地域創生学群				
国際環境工学部				

※在学中に授業料の改定及び納入方法等の改定が行われた場合、改定時から適用されることとなります。

【高等教育の修学支援新制度について】

本学は「大学等における修学の支援に関する法律」において要件の確認を受けています。

支援内容は、日本学生支援機構の給付型奨学金支給及び授業料・入学金の減免です。

大学における手続は、合格後に発送する入学の手引及び入学後のオリエンテーション時に配付する奨学金の案内でお知らせします。

入学金の納入猶予について

入学金の納入猶予については、高等学校等を通じて修学支援新制度に予約採用の申込みを行い、給付型奨学金の候補者として決定された方を対象とします。

決定された方は、入学手続の際に「大学等奨学生採用候補者決定通知」を提出していただく必要があります。

予約採用の申込方法等は、所属の高等学校等にご確認ください。

○参考ウェブサイト

文部科学省ホームページ

<https://www.mext.go.jp/kyufu/>

E 入試における感染防止対策について

「2027年度総合型選抜」（2026年度に実施する試験）における感染防止対策については、文部科学省の方針等を踏まえ、決定次第、本学ホームページ（<https://www.kitakyu-u.ac.jp/entrance-exam/>）に掲載いたします。

連絡先

【外国語学部、地域創生学群】北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 TEL 093-964-4022

【国際環境工学部】北九州市立大学 学務課入学試験係 TEL 093-695-3340

F そ の 他

1 教育目的

外国語学部：外国語の高度な運用能力を持ち、専攻する地域の文化・社会・歴史・政治経済と国際関係に関する専門的知識を有し、国際社会で活躍できるグローバルな人材の養成

英 米 学 科	国 際 関 係 学 科
高度な英語運用能力と、英米および英語圏の文化・社会の諸問題についての専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成	国際関係と地域研究の発展的な知識と、英語を中心に優れた語学力を兼ね備え、グローバルな視野に立って活躍できる国際人の養成

地域創生学群：幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成

地 域 創 生 学 類
幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成

国際環境工学部：環境問題に対する深い認識（環境マインド）を持ち、工学の多様化に対応できる基礎素養と工学的専門知識ならびに問題解決能力を備え、社会の持続的発展に貢献できる人材の養成

機械システム工学科	建築デザイン学科	生命工学科
機械システム技術者として、環境に配慮したものづくりで、「豊かな社会」と「持続可能な社会」との両立に貢献できる人材の養成	建築デザイン及び建築技術に関する基礎学力と実践力を身に付け、地球環境に配慮した建築・都市の創造と保全に貢献できるアーキテクト・マインドと技術者倫理を理解した人材の養成	生物・生態・環境の本質を理解し、活用するための基礎学力と実践力を身につけるとともに、バイオテクノロジーやエコテクノロジーを活用した技術開発力や環境問題への対応能力を持つ人材の養成

2 アドミッション・ポリシー

外国語学部英米学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部英米学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 世界の文化や情勢、社会、経済に高い関心を持ち、世界的な視野を持って意欲的に学び、自ら情報発信にも積極的な人
- 英語による高度なコミュニケーション能力の獲得を目指し、積極的に努力する人
- 国際社会での活動に熱心に取り組み、言語・文化・ビジネスの領域を中心にキャリア形成を図ろうとする意欲を有した人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※ 特に評価する項目に「○」をつけています。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力	・英語および英語圏の文化・社会・ビジネス分野について学ぶために必要な幅広い基礎学力を身につけている。	・英語圏を中心に世界の文化・社会について英語で自分の考えを述べるために必要となる思考力・判断力・表現力を身につけている。	・異文化圏の人々と積極的に交流・協働し、相互理解を深め新しい価値の創造を目指す姿勢を持っている。
総合型選抜	＜1次選考＞ 英語による模擬授業筆記試験	○	
基礎学力テスト等	＜2次選考＞ 面接（英語による模擬授業に関するディスカッション、自己推薦書を含む。）		○

外国語学部国際関係学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部国際関係学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 国際関係の分野に高い関心を持ち、国際社会の諸相を多角的に深く理解したい人
- 英語および中国語・朝鮮語などを用いてグローバル化した社会での活躍を目指す人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※ 特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			- 英語などの外国語における基礎的な読解力、表現力および実践的運用能力を備えている。 - 国際関係に関する文章を理解し得る基礎的な読解力および知識を備えている。	- 国際関係を学ぶ上で必要な論理的な思考力・判断力を備えている。 - 自分の考えを他者に明確に伝える表現力を備えている。	- 国際関係に対する問題関心や学習意欲を持っている。 - 文化的多様性に配慮しながら他者と円滑にコミュニケーションを図り、協力して目標を達成する意欲を持っている。
総合型選抜	基礎学力テスト等	<1次選考> 小論文	○	○	
		<2次選考> 集団討論 面接（自己推薦書）		○	○

地域創生学群地域創生学類 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

地域創生学群地域創生学類は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 地域社会の諸問題に強い関心を持ち、探究心を持って主体的に行動し、学修する人
- 地域社会に対する責任感と使命感を有する人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※ 特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			- 情報や課題を理解するために必要な読解力や文章表現力を備えている。 - 複雑な地域課題の解決のために、特定の分野の基礎知識を身につけている。 - 地域創生を達成するために必要な卓越した技能を有している。	- 相手の発言の意図や求められている事を的確に理解し、それに応じるために必要な表現力を身につけている。 - 地域創生に関する講義や文章を理解し、論理的にまとめる思考力を身につけている。	- 地域で活動する上で必要となる他者とのコミュニケーション能力や、自ら主体的に関わろうとする意欲を持っている。 - 自らのアイディアや経験を地域創生に活かす上での明確なビジョンを持っている。
総合型選抜	基礎学力テスト等	<1次選考> 集団討論 （自己推薦書、調査書）		○	
		<2次選考> 小論文 個別面接		○	○

国際環境工学部機械システム工学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際環境工学部機械システム工学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 機械システム工学・エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人
- 明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人
- 国際的な視点から技術の発展に貢献する意欲を持っている人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・機械システム工学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・機械システム工学分野を学ぶために必要な思考力、数学・理科の素養、表現力等を持っている。	・将来、機械工学を用いて様々な環境問題の解決に取り組む意欲を持っている。
総合型選抜	基礎学力テスト等	＜１次選考＞ 調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績（注１）			○
		＜２次選考＞ 課題探究試験・面接		○	

（注１）日本留学試験の成績を利用する場合のみ

国際環境工学部建築デザイン学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際環境工学部建築デザイン学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 建築学・エネルギー・環境問題に関心を持ち、その解決のために工学を応用する意欲を持っている人
- 明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲のある人
- 誇りある建築技術者となるために必要な責任感、倫理観を有する人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・建築学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・高度な専門知識を有する建築技術者や一級建築士を目指す上での基盤となる理数系の素養を持っている。 ・日本語と英語を基礎としたコミュニケーションに必要な能力を持っている。	・建築学分野の諸課題を理解し、その対策案をデザインする力を身につけるための思考力、数学・理科の素養、表現力等を持っている。	・構造・意匠・材料・エネルギー等の多様な観点から建築について学ぼうとする姿勢を持っている。
総合型選抜	基礎学力テスト等	＜１次選考＞ 調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績（注１）	○		
		＜２次選考＞ 課題探究試験・面接		○	○

（注１）日本留学試験の成績を利用する場合のみ

国際環境工学部生命工学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

国際環境工学部生命工学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- バイオテクノロジー、生態系や地球環境の保全の分野で将来活躍したいという強い意欲を持っている人
- 生物・生体の機能を活用した新技術の創出を目指す意欲を持ち、生命科学に深い関心を持っている人
- 旺盛な知的好奇心と目的意識を有し、意欲的に国内外の環境問題の解決に取り組みたいと考える人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※特に評価する項目に「○」をつけています。

			知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
求める能力			・人文・社会・自然科学・語学を問わず、幅広い知識を身につけている。 ・工学の基礎となる数学、物理、化学、生物などの基礎学力を身につけている。 ・日本語と英語のコミュニケーション能力を持っている。	・問題を理解・解析し、思考発展させる能力を身につけている。	・明確な目標を持ち、そのための努力を惜しまず、常に自らの能力向上を図る意欲を持っている。 ・将来は工学的見地から社会に貢献しようとする意欲を持っている。
総合型選抜	基礎学力テスト等	＜１次選考＞ 調査書 入学希望理由書 活動・資格等の実績 日本留学試験の成績（注１）	○		○
		＜１次選考＞ 数学	○		
		＜２次選考＞ 課題解決型記述問題に関する 口頭試問及び個別面接		○	○

（注１）日本留学試験の成績を利用する場合のみ

3 ディプロマ・ポリシー

基盤教育における学位授与方針

豊かな「知識」	・地域社会の課題や政策について、地域の文化・歴史、経済・産業等の魅力をふまえながら理解する力を身につけている。 ・生命や自然、環境問題の基礎を理解し、持続可能な環境共生社会の実現に向けて貢献する意識をもっている。 ・国際社会の諸問題を理解し、世界的な視野をもって行動できる力を身につけている。
知識を活用できる「技能」	・英語などの基礎的運用能力、情報リテラシー、資料等を読み解く技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」	・多様なものの見方、考え方、価値観などを理解し、思考・判断することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」	・個人の異なる生き方や価値観を理解し、社会と調和し、組織や社会の活動を促進することができる。
社会で生きる「自律的行動力」	・他者との関わりの中で自己を律し、自己のキャリア形成に向けて継続して学び、公共性、倫理性を持って行動できる。

専門教育における学位授与方針

■外国語学部

観点	学科	英米学科	国際関係学科
豊かな「知識」		・世界の文化的・社会的事象に関わる幅広い知識を基盤に、コアとなる「英語学・英語教育」「国際文化社会」「グローバルビジネス」のいずれかの専門分野に関する知識を体系的・総合的に身につけている。	・国際政治経済やアジア太平洋地域の政治外交に関する社会科学の基礎知識を修得し、それをもとに個々の地域が持つ特性を理解している。
知識を活用できる「技能」		・英語の4技能(読む・聞く・話す・書く)の修得に加え、英米及び英語圏を中心に世界の文化・社会的な背景の理解のもと、国際社会で活躍するために必要な高度な英語を適切に運用できる能力を身につけている。	・国際関係論と地域研究の学修に関して、社会科学の立場から、必要な情報を収集・調査・分析することができるとともに、英語をはじめ、東アジアで活躍するための中国語または朝鮮語の基礎語学力を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・流動的に変化している国際情勢や世界の文化・社会の諸問題に関する学修を通して、グローバルな視点から事象を多面的に捉え、学際的・複眼的に思考して解決策を探索し、多様な人種や文化を背景に持つ社会の中で、自分の意見を英語で明晰に表現することができる。	・国際情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的な思考・判断により、解決策を提案できる応用力を持つとともに、専門的見地から自分の考えや判断を表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」		・広く国際的な視野を身につけるための学修を通して、多種多様な国籍の文化や言語を背景に持つ他者と協働して効果的に活動できるコミュニケーション力を有している。	・国際的な観点から行う地域の特性に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。
社会で生きる「自律的行動力」		・英語や異文化に関する学修を通して、文化・社会への関心とキャリア意識を持ち続け、広い視野を持つ国際人として、主体的に行動できる。	・国際社会に関する学修を通して、国際関係と地域研究への関心を持ち続け、グローバル社会の一員として貢献できる姿勢を身につけている。

■地域創生学群

観点	学科	地域創生学類
豊かな「知識」		・地域の再生と創造に関する専門知識を地域との関わりの中で総合的に理解している。
知識を活用できる「技能」		・地域の再生と創造に関する専門知識と地域活動を効果的に推進するための技術を、実践的に活用できる。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・多面的な視野から地域が抱える問題の本質に迫り、創造的な思考と論理的な判断による解決案を、多様な他者に適切に伝えることができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」		・地域社会の中で多様な他者との豊かな関係を築くことができ、地域の再生と創造に向けて協力的に活動を進めることができる。
社会で生きる「自律的行動力」		・地域創生学の学修を通じて、地域の現状に関心を持ち続けながら、地域と社会の発展に向けて自律的に行動できる力を有している。

■国際環境工学部

観点	学科	機械システム工学科	建築デザイン学科	生命工学科
豊かな「知識」		・数学・物理などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、ものづくりに必要な機械工学の基本的知識・基礎的学力を有し、環境問題をふまえた広い視野を持って重要な概念や知識を体系的に理解している。	・数学・物理・化学などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、地球環境を視野に入れた総合的な視点をふまえた専門知識を有し、建築学を過去から未来へ繋がる豊かな人間環境と空間形成として体系的に理解している。	・生物・化学・数学・物理などの自然科学に関する基礎学力と工学全般の基礎知識の上に、生命科学、物質科学、環境科学を基本とした専門的知識を総合的に身につけている。
知識を活用できる「技能」		・機械システム分野の技術開発に必要とされる機械工学、機械力学、材料力学、熱力学、流体力学、制御・システム工学などの基本的技能を身につけている。	・建築学分野の技術開発に必要とされる、地球環境に配慮した建築、地域・都市の計画、設計、施工、保全、再生などの基本的技能を身につけている。	・生命工学分野に関する生物・化学・物理実験・調査、数理解析などを行うことができ、結果をふまえて、生態系や環境、社会に配慮しながら技術開発を進める基本的技能を身につけている。
次代を切り開く「思考・判断・表現力」		・環境問題を考慮した上での機械システム技術の学修を通じて、新たな機械工学上の課題について、環境への負荷軽減や広い視野から諸課題を捉えて思考・判断し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・建築学分野に関する学修を通じて、国際的及び持続可能性の視点をもって様々な課題を抽出し、地球環境に配慮しながら解決方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。	・生命工学分野に関する学修を通じ、生命や環境における様々な課題について、生物・生態系が持つ高度な仕組みを活用した新技術や環境管理方法を企画・立案し、自らの思考・判断のプロセス、結論を適切な方法で表現することができる。
組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション」		・機械システム分野の立場から演習・実験や卒業研究、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	・建築学分野の立場から卒業研究・卒業設計、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。	・生命工学分野の立場から演習・実験や卒業研究、フィールドワーク、インターンシップなどを通じて、地域や組織の中で自分の考えを相手に効果的に伝え、他者と協力して相互に啓発し合いながら問題解決に取り組む力を身につけている。
社会で生きる「自律的行動力」		・機械システム分野の学修を通じて、各方面で自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえた社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的に行動する力を身につけている。	・持続可能な国際社会の形成に貢献できる「アーキテクト・マインド」を修得する建築学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。	・生命工学分野の学修を通じて、自律的・継続的に学ぶ意欲を持ち、技術が社会に及ぼす影響をふまえて、社会的責任感と倫理観のもと、問題解決に向けて積極的・主体的な行動力を身につけている。

4 入試情報の成績開示について

北九州市立大学では、以下の要領で入学試験個人情報の開示を行います。

(1) 開示する入試個人情報の範囲

開示する2027年度の入試情報の範囲は次のとおりです。

- ① 試験結果 基礎学力テストの科目別得点及び合計点
- ② 総得点
- ③ 出願書類
- ④ 調査書（ただし、「総合的な探究（学習）の時間の内容・評価」、「指導上参考となる諸事項」及び「備考」は除く）

(2) 開示請求の方法

以下の書類を揃えて受付窓口に申請してください。

ただし、請求ができるのは受験生本人のみです。

① 窓口で請求する場合

- ・北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書
- ・返信用封筒（長形3号） 切手460円分を貼り、送付先の住所、宛名を記入したもの。
- ・本人を証明するもの 本人を確認できる写真入りの証明書（原本）又は本学受験票（原本）
を持参してください。
(証明書の例：大学入学共通テスト受験票、学生証、運転免許証等)

② 郵便で請求する場合

- ・北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書
- ・返信用封筒（長形3号） 切手460円分を貼り、送付先の住所、宛名を記入したもの。
- ・本学受験票（A4用紙にコピー）
- ・本人を証明するもの 本人を確認できる写真入りの証明書（A4用紙にコピー）
(証明書の例：大学入学共通テスト受験票、学生証、運転免許証等)
*ただし、写真が鮮明なものに限る

※受験時と氏名が異なっている場合は戸籍謄本等も同封（窓口申請の場合は持参）してください。

※添付書類に不備がある場合は、受理できません。

(3) 入試情報の開示（通知）方法

① 試験結果の開示の場合

- ・請求後、返信用封筒に成績通知書を入れて、簡易書留で送付します。（1ヶ月程度必要です。）

② 出願書類・調査書の開示の場合

- ・受付窓口での閲覧のみとなります。（コピー不可）
- ・申請受付後に本人宛に送付する成績通知書を受付窓口を持参してください。
- ・閲覧の際は、成績通知書の他に本人を証明するものを持参してください。
(証明書の例：大学入学共通テスト受験票、学生証、運転免許証等)

(4) 開示請求書（様式）について

北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書は、2027年4月に本学ホームページに掲載します。

(5) 開示請求の受付期間等

受付期間 2027年5月6日(木)～5月31日(月)（土、日、祝日除く）

閲覧期間 2027年6月1日(火)～6月30日(水)（土、日、祝日除く）

受付・閲覧時間 平日 9:00～16:00（12:15～13:15を除く）

〈受付窓口・お問い合わせ先〉

【外国語学部、地域創生学群】 〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係（TEL 093-964-4022）

【国際環境工学部】 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの1番1号
北九州市立大学 学務課入学試験係（TEL 093-695-3340）

5 個人情報の取扱いについて

北九州市立大学は出願に関して本学に提供された個人情報について、公立大学法人北九州市立大学個人情報保護管理規程に基づき、適切に取り扱います。

【個人情報の利用目的について】

本学が取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 志願者の氏名、生年月日、連絡先、成績などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。
- (2) 合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。
- (3) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格者決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ提供します。

【個人データの取扱いの委託について】

本学は、利用目的の範囲内で、個人情報の取扱い業務の一部又は全部を外部に委託することがあります。この場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持等により個人情報の漏洩防止に必要な事項を取り決め、適切な管理を実施させます。

6 個人用ノートパソコンの必携について

本学では、授業、履修登録、レポートの作成・提出、教員や大学からの連絡等でパソコンを活用しています。また、個人パソコンを使つての授業も予定されていますので、本学に入学の際は個人用ノートパソコンをご準備（必携）いただきますよう、あらかじめご案内いたします。

なお、ノートパソコンに必要な機能や推奨スペックなど詳細につきましては、今後、本学ホームページ等でご案内いたします。

＜お問い合わせ先＞

【外国語学部、地域創生学群】

北九州市立大学 学術振興課教務第一係 TEL：093-964-4036

【国際環境工学部】

北九州市立大学 学務課教務係 TEL：093-695-3330

※

※印欄は記入しない。

2027年度北九州市立大学総合型選抜 自己推薦書

志 望	学部 ・ 学群	学科 ・ 学類	フリガナ	
			氏 名	

志望した学科等を選択する理由、大学に入学して何を学びたいかについて、高校在学中までに活動していたことなどを含めて、自筆で記入してください。(横書きで記入。鉛筆書き不可)

	1	5	10	15	20	25
1						
5						
10						
15						
20						

表面から

[illegible]

必ず両面印刷すること

入学希望理由書
(国際環境工学部 総合型選抜用)

フリガナ	
氏 名	
志望学科名	

※印欄は記入しない

入学希望の理由を自筆で記入してください。(横書きで記入。鉛筆不可)

[illegible]

活動・資格等の実績報告書

2026 年 月 日作成

ふ り が な
志願者氏名

1. 高等学校時代以降の，学校での勉強以外の各種活動（部活動やボランティア活動，その他学内外での各種活動）のうち，主なものを記述してください（形式自由）。

時 期	活 動 内 容

志願者本人がボールペンで作成してください（摩擦等で消えるボールペンは使用不可）。
(表) [機械システム工学科]

志願者氏名

2. 1. の中で最も力を入れた活動を1つ挙げて、志願者本人の関与の具体的内容と程度（1回当たり活動時間、週当たり回数、継続期間等）、得られた活動の成果について記述してください（形式は任意）。

活 動	
関 与	
成 果	

3. 取得した資格や検定の成績、受けた表彰などがある場合は記述してください。

資料番号	時 期	資 格 ・ 表 彰 な ど
1		

※資格・表彰等の実績を客観的に示す資料として以下のものを添付してください。（特に書式は定めません。ただし、DVDなど、紙以外の資料の提出は認めません。）

（ア）資格の場合 ⇒ 資格証、スコアカードのコピー

（イ）社会活動、ボランティアなどの場合 ⇒ 公的報告書、所属した団体・機関による証明書類等

（ウ）競技や創作などの活動の場合 ⇒ 大会プログラムその他の公式報告書、新聞記事等

添付する資料には、実績報告書のどの実績に対応するのか分かるように、資料番号を記入してください。資格・検定については、所有する最上位の等級や得点を記載してください。志願者名が記載された資料など、志願者が該当の活動や大会に参加したことが分かる資料が必要です。また、必要に応じて、専門外の者にも内容が分かるような資料も添付してください。表彰については、「全国」レベル、「地方ブロック」レベル、「都道府県」レベル等に分けて、レベルを明記した上で、その順に記載してください。

※実用英語技能検定試験（英検）、TOEFL iBT、IELTS（アカデミック・モジュール）、GTEC（OFFICIAL SCORE CERTIFICATE に限る）、その他の英語能力試験の成績については、願書受付期間の最終日より過去2年以内に受験したもののコピーを提出してください。ただし、自宅で受験するタイプの英語能力試験の成績の使用は認めません。

志願者本人がボールペンで作成してください（摩擦等で消えるボールペンは使用不可）。

（裏）

活動・資格等の実績に関する資料

以下のものを志願者自身が作成の上、提出してください。

1) 活動・資格等実績一覧表

高等学校時代以降の活動・資格等の実績を一覧表にしたものを **A4版** で作成してください。
一覧表には、下にある表の項目を書いてください。なお、その実績には、優れている順に「①、②、③・・・」と評価順位を付けて、その順番に記入してください。その際、優先順位は、「全国」レベル、「地方ブロック」レベル、「都道府県」レベルの順にしてください。複数の活動・資格等に及ぶ場合は、各々に一覧表を作成してください。

2) 活動・資格等の実績を証明する資料

活動・資格等の実績を客観的に示す資料として以下のものを添付してください。（特に書式は定めません。ただし、DVDなど、紙以外の資料の提出はご遠慮ください。）

(ア) 競技や創作などの活動の場合 ⇒ 大会プログラムや公式報告書、新聞記事など

(イ) 社会活動、ボランティアなどの場合 ⇒ 公的報告書、所属した団体・機関による推薦書など

(ウ) 資格の場合 ⇒ 認定証やスコアカードのコピー

志願者名が記載された資料など、志願者が該当の大会や活動に参加したことが分かる資料が必要です。また、必要に応じて、実績の内容が専門外の者にも分かるような資料や、各自で作成した資料も添付してください。

各資料には、活動・資格等実績一覧表のどの実績に対応するのかが分かるように、評価順位番号を記入してください。一つの実績に対応する資料が複数に及ぶ場合は「①(評価順位番号)－1、①－2・・・」などと記入し、ホッチキス等で綴じてください。綴じることが難しい場合は、ファイルなどに入れてください。

活動・資格等実績一覧表に実績ごとに記入すべき項目とその内容（例）

項 目	記 入 す べ き 内 容		
	(ア)競技や創作などの活動の場合	(イ)社会活動、ボランティアなどの活動の場合	(ウ)資格の場合
(1)評価順位	①、②、③・・・	①、②、③・・・	①、②、③・・・
(2)学年	開催時の学年	活動時の学年	取得時の学年
(3)年月	開催時期	活動期間	取得時期
(4)種目名等	競技などの種目名、大会名、大会主催者名、開催地	活動内容（頻度、場所、対象者など）	資格の名称など
(5)団体・個人の別	団体の場合、ポジションやパート及び役割や貢献度も記入		
(6)成績	順位や賞	表彰の名称や評価内容など	得点や級など
(7)大会規模と実施団体	「全国」レベル、「地方ブロック」レベル、「都道府県」レベルのいずれかを記入	表彰や活動の主催団体	資格を与える団体などの名称
(8)参加者数・参加校・応募数など	競技参加人数・応募者数や参加校・応募校の数など	活動の参加者数など	受験者数や合格率など
(9)賞のレベルや性格	コンテストやコンクール、展示会などの受賞の場合、受賞した人数、学校数(例えば、「銀賞」受賞の時には、その上位の賞の受賞者(校)数についても記入)	表彰などの場合、表彰の理由、表彰者の数、他の表彰との位置づけ	同種の資格の中でのランク（他の同種の資格との比較）
(10)その他特記事項	活動の内容に応じて特筆すべきことがあれば記入		

(作成例)

活動・資格等実績一覧表

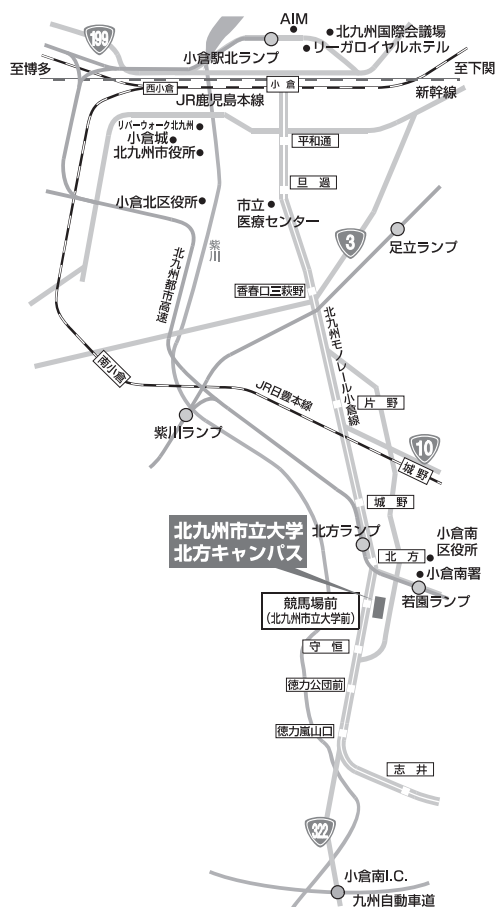
志願者氏名 北九 太郎
 高等学校名 ▲▲ 高等学校
 志望学科 ○○学科

(1) 評価順位	①	②	③
(2) 学年	1年	2年	2年
(3) 年月	●年●月●日	○年○月○日	△年△月△日
(4) 種目名等	第●回全国吹奏楽 コンクール	第○回全日本高等学 校選抜吹奏楽大会	TOEIC (第△回)
(5) 団体・個人の別	団体参加 アルトサックス担当	団体参加 アルトサックス担当	
(6) 成績	銀賞	優秀賞	630点
(7) 大会規模と実施 団体	全国レベル 全日本吹奏楽連盟	全国レベル 日本高等学校吹奏楽 連盟	(財) 国際ビジネスコ ミュニケーション協 会TOEIC運営委員会
(8) 参加者数・参加 校・応募数など	全国から選抜された 29校	全国から選抜された 17校	年間450万人が受験 (60カ国で実施)
(9) 賞のレベルや 性格	出場29校中金賞11校・ 銀賞11校・銅賞7校	出場17校中グランプ リ1校・ゴールデン 賞4校・優秀賞12校	(他資格との比較) 英検2級から準1級 程度
(10) その他特記事項	現在も吹奏楽部活動継続中です。		第×回も受験 (成績未受理)

* 上記はあくまで作成例です。

* 「活動・資格等の実績を証明する資料」を必ず添付してください。(団体での出場の場合、志願者本人が参加したことを証明できる書類も必要です。)

外国語学部
地域創生学群
試験会場



●北九州市立大学（北方キャンパス）

モノレール小倉駅
(小倉駅ビル 3F)

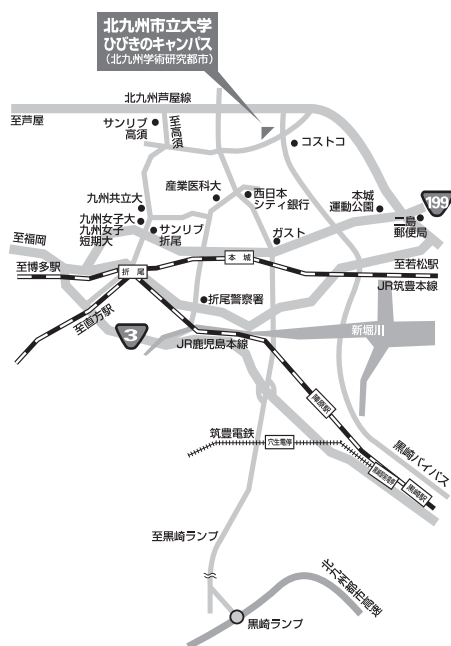
モノレール
約10分

競馬場前
(北九州市立大学前)

徒歩
約3分

北九州市立大学(北方キャンパス)

国際環境工学部
試験会場



●北九州市立大学（ひびきのキャンパス）

折尾駅バス停

77 西

利。

35 市営バス
約20分

約20万

学研都市ひびきの

徒步

約2分

北九州市立大学 (ひびきのキャンパス)

※バスの乗り場・行先
番号については、最
新情報を以下でご確
認ください。

北九州市営バス
若松営業所
093-771-2765
向田営業所
093-691-0131
西鉄バス
西鉄お客さまセンター
050-3616-2150/0570-00-1010

※試験会場を間違えないでください。

〈お問い合わせ先〉

北方キャンパス
(外国語学部・地域創生学群)
〒802-8577
北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係
TEL 093-964-4022
E-mail:nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

〔大学ホームページ <https://www.kitakyu-u.ac.jp/>〕

ひびきのキャンパス（国際環境工学部）
〒808-0135
北九州市若松区ひびきの1番1号
北九州市立大学 学務課入学試験係
TEL 093-695-3340
E-mail:nyushi@kitakyu-u.ac.jp



北九州市立大学 公式マスコットキャラクター

きたきゅっち

※受験票は 9 月 15 日(火) から印刷可能です。インターネット出題サイトの「申込確認」画面から印刷し、試験日当日に持参してください。